

学校 教育 目標	『ともに学び よりよい生き方を 見つけだす しろさとっ子』							
	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら課題を発見し、思いや考えを深め、学び合う姿勢を育てます。(知) ・できる喜びを感じ、自分らしく、思いやりをもって伝え合う心を育てます。(徳) ・自分の生活に関心をもち、健康な体と根気強く取り組む力を育てます。(体) ・社会や地域とのつながりを大切にする心を養います。(公) ・多様性を尊重し、夢や希望をもって挑戦する心を育てます。(開) 							
学校 概要	創立 124 周年	学校長	三瓶 淳	副校長	久保田 昭彦	2 学期制	一般学級: 19	個別支援学級: 8
	児童生徒数: 589 人		主な関係校: 城郷中学校 篠原中学校 六角橋中学校					

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	城郷中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p style="text-align: center;"><基礎学力> <協働して問題解決する力> <自分づくりに関する力></p>	<p>城郷中学校 小机小学校</p>	<p style="text-align: center;">地域に愛され、地域に貢献する子</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事に進んで活動し、地域の方に進んであいさつする子を育てる。 ・スピーチ活動などを通して自分の考えを自分の言葉で発信できる子を育てる。 ・児童生徒交流のひとつに地域清掃活動を設定し、小6生と中学生の地域での協働活動の実施。

中期 取組 目標	<p>○一人一人を大切にしながら、まちとともに歩む学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「分かる」「楽しい」「集中できる」授業づくりを展開し、授業を大切に学力を向上させます。 ・子どもたちが自己肯定感を高め、思いやりの心をもって学校生活を送れるようにします。 ・健康な心と体をつくるための生活習慣を身につけます。 ・まちの「もの」や「こと」を学んだり、まちの「人」から学んだりして、まちを愛する心を育てます。
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
<p>知 生きてはたらく知</p> <p>担当 重点研推進委</p>	<p>①「しろっ子タイム」において、「学習スタンダード」を意識した学習の振り返りを行い、安心して学習活動に取り組めるようにする。②少人数での話し合い活動等を取り入れ、比較、分類、関連づけなど、思考することをもとに自分の考えをもつ経験を積み重ねる。</p>
<p>徳 豊かな心</p> <p>担当 児童指導・特支・人権委</p>	<p>①児童会から提案される「あいさつ運動」を中心に、地域の方などにも進んであいさつする意識を高めていく。道徳・人権の指導を中心に思いやりのある言葉遣いができる子どもを育てていく。②なかよし活動やY-Pを活用しながら、互いに認め合う気持ちを高めていく。</p>
<p>体 健やかな体</p> <p>担当 体育部・保健部</p>	<p>①学校保健委員会では、児童が問題意識をもち、生活・行動を振り返ることができるテーマを設定する。手洗いうがいの習慣や衣服の調節など、自分の健康管理を意識づける。②児童委員会の企画による体力アップ週間や、日常の休み時間の外遊びなどから、体を動かす楽しさを体験させる。</p>
<p>公開 地域連携</p> <p>担当 企画会</p>	<p>①昔遊び、家庭科学習のボランティアをはじめ、横浜マリノス株式会社(キャリア教育)、日産スタジアム、ケアプラザや地区センターなど、社会科や総合的な学習の時間等での連携した学習に取り組む。②学校運営協議会の充実を図る。③地域学校協働本部と一年を通して協働体制を充実させる。</p>
<p>いじめへの対応</p> <p>担当 いじめ防止対策委員会</p>	<p>①「いじめ」の定義を再確認し、小さなことも「最悪の事態は」の意識をもって関わる。②「子どもの社会的スキル横浜プログラム」を授業や学校行事の場面で活用している。③児童の発達段階に応じて、教科担任制を取り入れるなど複数の教員が関わるチーム学年経営を推進していく。</p>
<p>人材育成・組織運営(働き方)</p> <p>担当 教務部</p>	<p>①育てたい力を明らかにした、「分かる、楽しい、集中できる」授業づくり・環境づくりを学ぶ。②校内メンター研修を全職員でサポート、活用できる体制をつくる。③再現性のある伝達方法を整備する。毎週定例の教務会を行い、小刻みに短時間で、具体的な学校運営の方向性を確認できる場とする。</p>
<p>教育環境整備</p> <p>担当 教務部・事務部</p>	<p>①施設、設備、教材・教具の安全性と消耗度合いを点検し、優先順位を考え、計画的に適切な補修や更新を行うことで、カリキュラムに合わせて効果的に活用できるようにする。②ICT機器を有効に活用できるよう、校内のネットワーク環境を改修し、快適な学習環境づくりに取り組む。</p>
<p>児童指導</p> <p>担当 児童指導・特支・人権委</p>	<p>①「しろさとっ子のきまり」を全職員で共通理解し同じ基準で児童指導にあたる。②年2回のY-Pを活用して児童の実態や気持ちの変化を見取り学級経営に活かす。③年3回の学校生活アンケートの結果を学年全体で共有し専任等の複数の目で見守り担任ひとり抱えることなく体制づくりを行う。</p>
<p>特別支援教育</p> <p>担当 特別支援部</p>	<p>①個に応じた支援をするために、特別支援教育の視点をもった授業づくりを意識して教育課程編成に取り組む。②職員研修を通して、ユニバーサルデザインやインクルーシブ教育の考えを取り入れた授業を組み立て、スキルアップを図る。</p>
<p>a15</p> <p>担当</p>	<p>c10</p>